

✿ 広報

ながい



1/1
JAN.2019
vol.1340



主な
内容

- 02 新年のごあいさつ
- 04 2018 年の出来事
- 08 山形ふるさとCM大賞 優秀賞を受賞！！
- 10 市営バスの乗り方についてお知らせします

2019 年もスタートダッシュ！
12/15 スポーツ少年団
合同体カテスト

2019 年も皆さんを乗せて♪フラワー長井線♪





新たなチャレンジ！ “長井創生”の更なる加速！！

長井市長 内谷重治



2019年の年頭にあたりまして、市民の皆様にご挨拶申し上げます。旧年中は、市政運営と「みんなが創るしあわせに暮らせるまち長井」の推進に深いご理解とご協力、温かいご支援を賜り、心からお礼申し上げます。

これから『4年間の新たな決意』

平成30年12月15日、第17代市長として就任し、引き続き4期目、新たな4年間の市政を担わせていただくことになりました。市長という重責に身の引き締まる思いです。改めて、初心に帰り、全身全霊を捧げ、市民の皆様の負託に応えてまいりたいと決意を新たにしております。

超少子高齢化や若者流出など、人口減少社会に対して、今後、持続可能な長井市・地域社会をどのように創っていくかが最大の課題となっています。今後20年で人口が約3割減少すると予測される中で、人口減少に歯止めをかけるため、長井市は「長井創生」に全力で邁進してきました。今年、更に長井創生を加速させ、この厳しい難局を乗り越え、次世代にしっかりとバトンタッチできるように、市民の総力を結集し、まちづくりに取り組んでいく所存でございます。今年も、オール長井、でのまちづくりへ向けて、市民の皆様のご参加とご協力をよろしくお願い申し上げます。

未来への責任！ 次世代につなぐバトン！

私達がしあわせに暮らせるまちを創るため、未来を担う子ども達にきちんとバトンをつなげることが私達世代の責任です。そのため、長井の未来を創る3つの重点戦略と10の主要政策を掲げ長井創生の取り組みを進めていきます。

1. 元気な人づくりをすすめます

① 温かい介護と福祉医療の充実
② しあわせに子育て、特色のある教育の充実

③ 子どもと女性、若者が夢と希望をもてるまちづくり

④ 文教スポーツ都市の実現に向けた芸術文化の創造、生涯学習、生涯スポーツの充実

2. にぎわいと働く場づくりをすすめます

⑤ 公共施設整備と中心市街地活性化で魅力あるまちづくり

⑥ ものづくり産業と起業・創業支援
⑦ にぎわいと観光交流の拡大による多様な雇用の創出

3. 活発で災害に強い地域づくりをすすめます

⑧ 小さな拠点の整備で市民協働の安全・安心の地域づくり

⑨ 財政力を守り、温かく信頼される市役所づくり

⑩ 地方創生推進交付金や拠点整備交付金など国の制度を積極的に活用



新年のごあいさつ



▲子育て支援の充実と特色ある教育の更なる充実を図ります。



▲キャリア教育を推進し起業家精神を養います。



▲2020年東京オリンピック・パラリンピックへ向けた取り組みを更に進め、文化・芸術をはじめとする長井の魅力を国内外に発信します。

長井創生の新たなチャレンジ！

長井に住みながら世界を相手にビジネスができる人材を育成します

現在進めている子ども達の早期国語教育や小学校からの英語教育を更に充実させるとともに、学力の向上と健康的な身体、長井の心を持つ優しくたくましい子どもを育てていきます。また、4月開館の旧長井小学校第一校舎を拠点とし、キャリア教育・プログラミング・食育などの体験学習により、子ども達の起業家精神も養います。

ものづくり産業の振興と起業・創業支援、観光地づくりを進め、地域を元気にします

製造業や農業などのものづくり

産業の更なる振興と、長井工業高校や山大王学部との連携を図りながら、大学、専門学校などの誘致を目指し、ものづくり人材を始め、不足する介護や建設を担う人材の育成を図ります。また、起業・創業と農業の6次産業化、新規就農などを積極的に支援するとともに、観光交流客の増大により、多様な雇用、働く場を創出します。更に、観光地域づくりを進めるため「やまがた長井観光局」を長井、南陽、白鷹、飯豊2市2町による広域連携へと発展させ、フラワー長井線やインバウンド（外国人観光客）による観光振興を図ります。

重要文化的景観など歴史・文化資源を中心市街地活性化に生かし、にぎわいを創り、多様な雇用と働く場をつくります

重要文化的景観となった長井の街並みなどの歴史・文化資源を中心市街地の活性化に生かし、道の駅「川のみなと長井」から旧長井小学校第一校舎、まちなかの駅「クロスバ」へとまちなか観光の増大を図り、にぎわい創りとまちなか活性化を目指します。また、観光交流の拡大による多様な雇用と働く場をつくり、長井を元気にしていきます。

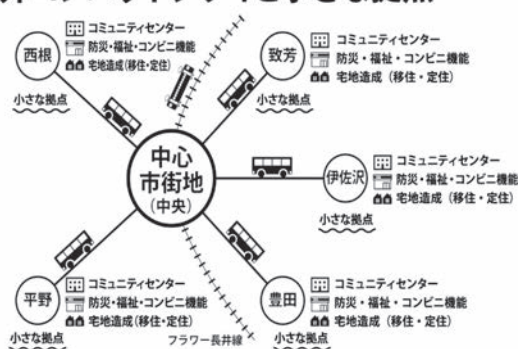
各地区公民館のコミセン化に合わせ、防災センターを持つ小さな拠点の整備を図り、均衡ある地域の活性化を進めます

各地区公民館を地域づくりの拠

点となるコミュニティセンターとし、地区民の知恵と協働で地域防災の拠点づくりや地域福祉、コンビニエンス機能などを設置・充実させ、「小さな拠点」として整備することで、市内6地区の均衡ある活性化を目指します。

長井コンパクトシティと小さな拠点

(イメージ図)



結びになります。この新しい年が、市民の皆様にとつて、希望に満ちた輝かしい1年となります。また、なご一層のご活躍と健勝を祈念し、新年のあいさついたします。



2018年の出来事

長井市初となるオリンピック選手の活躍や、長井マラソン大会へのタンザニア選手団の招待など、スポーツを通して長井市が全国に発信された2018年。長井創生の更なる加速に向けても、教育・子育てや観光交流など、様々な分野で新たな取り組みが始まった一年でもありました。



▲長井市初のオリンピック出場を果たした鈴木沙織選手(写真下左から4番目)。



▲2月19日に平昌オリンピックのフリースタイルスキー女子ハーフパイプに出場した鈴木沙織選手。決勝進出は逃したものの、素晴らしい滑りで市民に感動を与えてくれました。出身校である長井南中学校や豊田小学校では、横断幕などを作成し先輩である鈴木選手を応援。当日はタスビルでパブリックビューイングも開催し、長井から鈴木選手に声援を送りました。



▲3月21日に小学生を対象とした起業体験ワークショップを開催。市場調査や銀行からの融資なども含め、会社の仕組みを学びました。



▲3月2日の「きかせわっさ」贈呈式。市では乳幼児期からの読み聞かせを推奨しており、市内の小学1年生までの子どもがいる家庭に配布しています。

きかせわっさ



さく：ながいし

2018年の主な出来事									
1月1日	道の駅川のみなと長井で初となる「かわべリング元旦祭」が開催された。								
2月13日	「最上川上流域における長井の町場景観」が重要な文化的景観に選定。								
2月19日	平昌オリンピックのフリースタイルスキー女子ハーフパイプ種目に、鈴木沙織選手が長井市初のオリンピック選手として出場。								
2月24日	第1回ビジネスチャレンジコンテストファイナルイベントを開催。								
3月2日	読み聞かせ・音読マニアル「きかせわっさ」の配布開始。								
3月21日	起業体験ワークショップを開催。								
3月23日	道の駅川のみなと長井の来場者数が50万人を突破。								
4月29日	あやめ公園テニスコートの大規模改修が完了し、落成式を開催。								
5月13日	「けん玉の日2018 in 長井」が開催され、市内外のけん玉愛好家などが集結。								
5月20日	第40回全国白つづじマラソン大会を開催。過去最多の1049人がエントリー。								



▲7月6日～8日に実施されたながい百秋湖(長井ダム)での水陸両用バスの試験運行。着水の楽しさや、景観などで好評を得ました。10月には、同所で遊覧船の試験運行も実施しました。



▲5月13日の「けん玉の日2018in長井」では、市内商店街などと連携したけん玉チャレンジラリーが実施されました。参加者は、けん玉片手に市内の商店街巡りを楽しみました。



▲4月29日に行われた大規模改修後のあやめ公園テニスコート落成式。砂入り人工芝コートになりプレーしやすくなりました。



▲10月21日の長井マラソン大会にタンザニア選手団8人を招待しました。



▲8月15日の成人式には、平成9年度生まれの新成人202人が参加し、成人としての誓いを宣言しました。



▲ジュマ・イカンガーさんと、瀬古利彦さんをゲストに迎え、長井マラソン大会前日の10月20日には、2人の対談が実現しました。



▲10月16日から事前合宿として長井入りしたタンザニア選手団は、小中学校などを訪問し、市民の皆さんと交流しました。



▲10月14日にグランドオープンした、まちなかの駅cross-ba(クロスバ)。まちなかの観光案内や休憩所として活用されます。

11月17日	10月25日	10月21日	10月14日	10月1日	9月1日	8月15日	7月6日 ～8日	6月29日	6月1日
2018ながい産業博 オールながい産業博 が開催された。	昭和63年10月25日に開 業したフラワー長井線 (山形鉄道株)が30周年。	第32回長井マラソン大 会が開催され、タンザニ ア選手団が参加。	5月に本町に完成した テナントミックス施設 cross-ba(クロスバ)の一 角に、まちなかの駅cross- ba(クロスバ)がグランド オープン。	マイナンバーカードを 利用し各種証明書が取 得できる「コンビニ交付 サービス」を開始。	市陸上競技場の施設愛 称が「光洋精機アスリー トフィールド長井」に決 定。契約期間は3年。	長井市成人式を開催。	ながい百秋湖(長井ダ ム)で水陸両用バスの試 験運行を実施。	ながい百秋湖(長井ダ ム)で水陸両用バスの試 験運行を実施。	宅地分譲第2弾として 「花咲きタウンみずはの 郷WEST」の分譲を開 始。現在、区画は全て完 売。

ながいフットパスウォーク 2018

ながいフットパスウォークでは、市内にある様々な小道をガイドの説明を聞きながら歩くことで、地区ごとの違った魅力、そして長井の良さを再発見することができます。また、それぞれの地域、季節ならではの食を味わえるのも楽しみの一つです。このページでは、今年度行った5回分の活動内容と参加者の声を紹介します。参加者の声を生かし、今後も更に内容を充実させた開催を予定しています。次回以降の開催についても、随時お知らせしていきますので、皆さんの参加をお待ちしています。

※問い合わせ 長井市かわまちづくり推進協議会事務局(市建設課)

☎(87)0863

フットパスとは…

森林や田園地帯、古い町並みなど地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩くこと【Foot】ができる小道【Path】のことです。



西山の残雪に映える古里の桜巡り(豊田コース)では、主に豊田地区の歌丸方面を歩きました。白川グラウンドを出発し、まずは聖神社へ。春の桜が参加者を出迎え、途中訪れた歌丸公民館では、地元の皆さんのおもてなしにより、桜を見ながら美味しい食事を楽しみました。最上川と白川が合流する最上川ビューポイント川沿いに整備された桜並木も絶景で、春の豊田を満喫しながら歩きました。



豪商のなごり足軽街道をめぐる成田コース(致芳コース)では、あやめ公園から成田方面へ向かって出発。成田八幡神社や福蔵院などの寺社を巡り、羽前成田駅と高橋鯉屋では関係する皆さんから丁寧な施設紹介を受けました。また、ガイドによる豪商佐々木家の説明の際には、参加者から感嘆の声が上がり、致芳地区の歴史を学びながら歩くことができました。更に、日進堂のお菓子やなごみ庵での昼食など、致芳地区の「食」も満喫しました。

—参加者の声—

全体を通して

- ガイドの説明が大変興味深かった
- 健康増進にも大変良かった
- 地元の皆さんの温かいおもてなしに感謝
- 地元の魅力を再発見できた

今後への提案

- 更なる参加者同士の交流
- SNSなどでのPRをもっと積極的に
- 地元の有名人と一緒に歩く企画
- 建物の歴史などを映像で流す

写真の配置と運営担当団体

【豊田コース:豊田ふるさと振興会】

①最上川ビューポイント②歌丸公民館

【致芳コース:チーム・アルクNAGAI】

③佐々木家④福蔵院

【まちなかコース:長井花のまちスポーツクラブ】

⑤事前のストレッチ教室⑥最上川堤防

【まちなか(宮)コース:(特)長井まちづくりNPOセンター】

⑦丸大扇屋⑧撞木川

【平野コース:(特)最上川リバーツーリズムネットワーク】

⑨石淵溪谷⑩道照寺平スキー場



ストレッチ&ウォーキング歴史と水際のコース(まちなかコース)では、初の試みとして、歩く前と歩き終えた後に、講師を招いてのストレッチ教室を開催。歩く前後のストレッチの違いや大切さを学ぶことができ好評でした。ストレッチ後のウォーキングは暑い中での開催でしたが、まちなかに多く残る歴史的な建物や普段は通らないような小路を楽しみながら歩くことができ、長井の歴史や魅力を十分に楽しめました。



マニアック解説付！歴史的な建物巡りコース・あなたの知らない長井をご案内します[(まちなか<宮>)コース]は、小桜館の建立140周年を記念して「横丁アートセッション」と同日開催。小桜館から2班に分かれて出発しました。ガイドのマニアックな解説付で、宮周辺の歴史的な建物を見ながら楽しく歩きました。普段なかなか見ることのできない、風間書店の座敷蔵や庭園、小桜館の天井裏なども見学することができました。

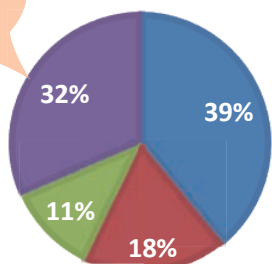


長井ダム水源地域のベストシーズン到来！紅葉狩りを楽しみながら長井と水の歴史を細解く(平野コース)では、野川まなび館を出発し、水の歴史などを学びながら歩きました。紅葉が色付き始め、どの場所から見る眺めも良く、特に道照寺平スキー場から市内を一望した景色は絶景。昼には、ビッグバンド「MOJO」さんの演奏を聴きながら美味しい芋煮に舌鼓を打ちました。

アンケートを実施しましたー

リピート率
約6割！
初めての参加も
大歓迎です!!

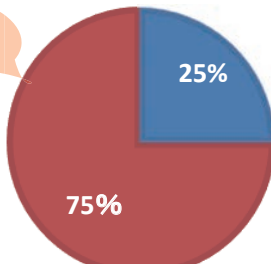
■初めて
■2回目
■3回目
■4回目以上



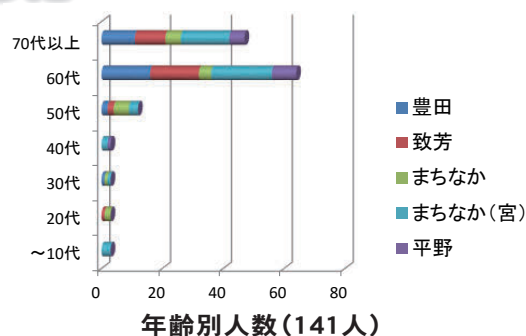
何回目の参加ですか？

満足度
100%!

■大変満足
■満足
■不満
■非常に不満



満足度



■豊田
■致芳
■まちなか
■まちなか(宮)
■平野



ナガイノミライ

～長井市ものづくり人材育成推進協議会通信～

第5号 長井工業高校全校課題研究発表会のご案内

※問い合わせ 市総合政策課
(協議会事務局) ☎(87) 0714

今回は長井工業高校から全校課題研究発表会についてのご案内です。ぜひご来場ください。

平成30年度 長井工業高校 全校課題研究発表会のご案内

長井工業高校では、地元産業を支える人材育成を目指した各種工業教育活動を展開しており、その一つとして、3年間の学びの集大成である「全校課題研究発表会」を毎年実施しています。この活動は、「課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる」ことを目標に、試行錯誤を繰り返しながら実践的な研究に取り組みます。3年生はこの学習を通して、プレゼンテーションの手法だけでなく目標の設定やプロジェクトの管理法、問題解決の手法を習得します。自ら設定したテーマと1年間向き合いながら、今までに学んだ知識を活用して一から「モノ」を創りあげること、「知識」を「技術」に変えていくことができます。

昨年度からは、長井市ものづくり人材育成推進協議会を始め多方面からのご支援により、タスビ

ルで全校課題研究発表会を実施しています。昨年度の発表では、生徒達が来賓や協力企業、一般の皆さんの前で堂々とした発表を行い、好評を博すことができました。今年度も、長井生の学習の成果をぜひご覧ください。

- いつ 1月28日(月)午後1時20分～3時30分
- どこで タスビル2階コンベンションホール
- 内容 機械システム科、電子システム科、福祉生産システム科3年生の課題研究発表



▲昨年度の発表会では、各学科から選抜されたグループが、マイクロマウスやロケットストーブの製作、情報端末用アプリなどのテーマについてプレゼンテーションを行いました。



山形ふるさとCM大賞 優秀賞を受賞！！



長井市作品 ～ため息が出るたび～

第19回山形ふるさとCM大賞の審査会が12月17日、YTS山形テレビで放送され、長井市作品「ため息が出るたび」が大賞に次ぐ優秀賞を受賞しました。長井市作品の優秀賞受賞は5年ぶり2度目となります。

今回の作品は、水のまち長井市が誇る三淵溪谷の魅力をより多くの人に知ってもらいたいという思いで制作しました。



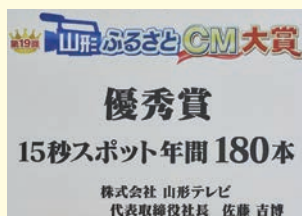
番組（審査会）再放送のお知らせ
1月3日(木)午後1時～YTSをご覧ください。

2019年は、本作品がYTS山形テレビで年間180回放送されますので、ぜひご覧ください。

なお、毎年5月～11月の期間中、三淵溪谷を楽しめるボートツーリングが行われていますので、皆さんもぜひ一度この絶景をお楽しみください。

◇詳しくは(特)最上川リバーツーリズムネットワークのボートツーリング専用ホームページをご覧ください。

<http://manabikan.wixsite.com/boat>



Nagai CH

CMは長井市公式動画チャンネル「ながいチャンネル」からもご覧いただけます。上記のQRコードを読み取るか、「ながいチャンネル」ホームページからご覧ください。

<http://movie.city.nagai.yamagata.jp>

※問い合わせ 市総合政策課秘書・広報室 ☎(87) 0714

JFAエリートプログラムU-14に選ばれ韓国遠征 世界で活躍するゴールキーパーを目指して

志田旭さん(長井南中2年・モンテディオ山形ジュニアユース村山)

ひと

将来の日本代表を育成するため、日本サッカー協会(以下JFA)が実施している「エ

リートプログラム」。そのU-14メンバーに志田旭さん(長井南中2年)が選出され、11月5日〜10日の韓国遠征に参加した。将来日本を代表するゴールキーパー(以下GK)として期待されている一人だ。

志田さんは、ながいユニテッドFC所属時の小学4年生からGKに。その後、父の薦めでモンテディオ山形ジュニアユース村山の選考を受け、見事合格。「両親に感謝」と話すように、親の送迎や、自分で電車やバスを利用して天童の練習場まで通う日々を送っている。

志田さんは身長181cmと恵まれた体だが、実はGKとしては大きくはない。その中で「今年の試合では、一度もペナルティーエリア外からゴールを決められていない。セービングや反応の良さが強み」と自己分析す



▲「韓国代表の選手は、体が強く、当たった時に重みを感じた」と世界を実感した志田さん。

る。全国の選抜メンバーで練習などを行う「JFAナショナルトレセン」にも何度も選ばれており、所属チームでの練習を含め切磋琢磨する中でその強みを磨き、今回の選出につながった。「目標だったので嬉しかった」と、志田さんは当時は振り返る。今回の遠征では、韓国U-14代表との初戦に出場。「初めて世界を相手に戦うことができた。失点後の雰囲気づくりや、試合中の足の運び方、的確な状況判断のための視野の広さなど、課題ができた」と貴重な経験と課題を持ち帰ってきた。

2019年の目標を「U-15代表に入り、活躍すること。所属チームでも良い成績を残したい」と話す志田さん。将来の目標である「若い頃から世界で活躍するGK」に向け、新たな一年が始まる。

虹の郷発

希望行き

第201号

作る人と食べる人のつながりを 次の世代にも

レインボープラン推進協議会 会長
若林 和彦

私は西根の草岡地区で農業を営んでいます。レインボープランの地域循環の考え方に共感し、平成9年度の事業開始当初からレインボープラン農産物を生産しています。栽培している作物は主に米・大豆・そば・なたねです。学校給食で子ども達が食べているレインボープラン認証米も作っています。また、地元の事業者と協力してもらい、納豆・みそ・とうふ・なたね油などの加工食品の製造と販売もしています。

生産者としては、皆さんに「おいしい」「また食べたい」と言ってもらえることが一番の喜びです。レインボープランは、そんな生産者と消費者のつながりを生ごみの循環を通して生み出し、市民の皆さんと一緒に、長井の豊かな自然と共存する農業や健康な生活をつくる取り組みだと考えています。私も、

生ごみを分別してくださっている皆さんのことを思いながら、できるだけ農薬を減らし、作物に合わせた肥料の適正な使用を心がけて栽培を続けています。

今年度レインボープラン推進協議会では、行政、山形大学と協力して、20年以上に渡るレインボープランの循環型地域づくりの成果と現状と課題を確認するための調査事業に取り組んでいます。市民の皆さんにはアンケート調査などにご協力をいただき感謝申し上げます。

世代が変わり社会も変わり、レインボープランにも見直す点が様々出てきているかと思いますが、どんなに時代が変わっても自然の循環の中にある「いのちと食の大切さ」は変わりません。今回の調査結果も参考にしながら、レインボープランが提唱してきた「循環」を、今後どのように若い人達や子ども達に伝え、次の世代に合った取り組みにしていくのか、市民も行政も一緒になって話し合っていければと思っています。皆さんの一層のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



▲子ども達と一緒に種まき

※問い合わせ レインボープラン推進協議会事務局 ☎・FAX (88) 2601 e-mail: info-rp@e.jan.ne.jp